



2022年12月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 P O P E R
代 表 者 名 代 表 取 締 役 栗 原 慎 吾
(コード：5134 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 姚 志 鵬
(TEL. 03-6265-0951)

繰延税金資産（法人税等調整額）の計上及び

2022年10月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は繰延税金資産の計上をするとともに、2022年11月15日に公表しました2022年10月期（2021年11月1日～2022年10月31日）の通期業績予想と本日公表の実績に差異が発生しましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産（法人税等調整額）の計上

今後の業績見通し等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収が見込まれる部分については繰延税金資産を計上することとしました。これにより、2022年10月期において、法人税等調整額（△は利益）は△45,808千円となりました。

2. 2022年10月期通期業績予想値と実績値の差異（2021年11月1日～2022年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想 (A)	660	△26	△37	△38	△10.85
実績値 (B)	665	△20	△26	7	2.25
増減額 (B-A)	5	6	11	45	
増減率 (%)	0.7	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2021年10月期)	442	△180	△181	△184	△55.91

3. 差異の理由

売上高につきましては、「Comiru」の有料契約企業数の増加や顧客単価の上昇により、概ね想定どおり推移しております。

また、利益面につきましては、売上増加に伴い売上総利益が増加したことに加え、コロナ禍において広告宣伝費及び販売管理費並びに上場関連費用の使用が当初の計画を下回り、さらに、上述のとおり繰延税金資産の計上に伴い、法人税等調整額が減少した結果、営業損失、経常損失及び当期純損失が前回公表予想から改善いたしました。

以 上